

◆◆◆◆◆
安里 周作 議員



◆◆◆◆◆
子供の貧困について

質 資本の格差が浸透してきています。恩納村も例外ではないと思います。資本の格差は正は、行政の重要な役割だと感じています。玉城知事の所信表明で、「誰一人取り残すことなく、すべての人の尊厳を守り、多様性や寛容性を大切にした共生の社会づくりを目指し」、「子供の貧困対策」を最重要政策に掲げています。そこで恩納村の子供の貧困に対する、村長の認識をお尋ねしたい。

答 村長 長浜善巳

子供の貧困は、生まれ育つ家庭の低所得に起因して、複合的な困難が発生し、成長や教育のプロセスで多くの不利に置かれる状況を総合的に考えて、子供の貧困と認識して考えております。貧困の共通の原因は、貧困の連鎖であり、次世代を担う子供たちの支援を教育、医療、福祉のみならず、地域とともにまちづくりの中で貧困の連鎖を打ち切らなければならないと考えております。

質 過去四年間、子供の貧困に対する取り組みをお伺いします。

答 学校教育課長 石川 司

貧困に対するものは、恩納村総合教育会議という中で村長が施行する。実施しているのが、子育て支援として第三子から給食費の無料化、次年度からスタートする奨学金の給付型の手立て、今協議しているのが、給食費の無料化、高校生への登校のバス賃の支援も協議しています。

答 福祉健康課長 長浜保治

福祉健康課として、放課後児童クラブ等利用助成金交付で、利用料の二分の一を軽減する制度を設けております。

質 これから村政に向けて、子供の貧困のことに對してどのような考えでいるか伺います。

答 村長 長浜善巳

貧困の連鎖を断ち切るのちろんですが、教育会議でも議論しております給食費の無料化、また高校生への通学の支援援助をしていきたい。今後も地域の皆様と共に意見を聴取しながら、子供の貧困対策を考えております。



◆◆◆◆◆
県民投票について

質 補正予算に、県民投票の予算が見られないこと、村長の意思がどうなのかお伺いさせていただきます。

答 村長 長浜善巳

今回の県民投票でございますが、県議会において条例が成立しております。事務を実施する方向で進めております。

◆◆◆◆◆
糸数 昭 議員



◆◆◆◆◆
山田城跡について

質 進捗や取り組みについて伺います。

答 社会教育課長 長浜健一

平成31年度より山田グスクの範囲や石積みなどの痕跡を確認するための基礎調査を実施するため、文化庁補助申請を行っております。今後は公有地化及び整備に向けた事業を推進し、地権者交渉へ移るためにも平成30年度より不動産鑑定業務の事業を実施しております。

質 今後どういう取り組みをやっていくか伺います。

答 教育長 當山欽也

地権者の方々の協力を得ながら、公有地化に向けた事業を進めるとともに、並行して遺構調査、その蓄積を図っていきたい。それを踏まえた上で整備計画の作成、事業展開に結びつけていこうということを考えております。最終的には文化遺産である山田グスクの保存活用に取り組んでいきます。

◆◆◆◆◆
村道管理と採石業者について

質 採石場から出る残土については、産業廃棄物ですか、残土は野積みできるか伺います。

答 村民課長 屋良朝也

残土については産業廃棄物になります。残土は囲いを行い、補完

をし、飛散、流出しないための適切な措置を行う必要があります。保管場所であるという表示が必要であるということ、表示には管理者の氏名、廃棄物の種類、連絡先を記載した掲示板を設置する必要があります。囲いをして、水や土が流出しないようにして、囲いから2メートルの範囲は、囲いの高さの50センチ下げないといけないというのがあります。2メートルからは、勾配を上げるのであれば50%以下の勾配にするということとなっております。

質 現在、野積みされている状態です。指導やるべきだと思えますが。

答 村民課長 屋良朝也

今後、中部保健所と連携をとって、対策をとっていきたくと思っています。

◆◆◆◆◆
指定管理施設とダイビング業者について

質 ダイビング業者は沖縄県公安委員会の許可を受けなくても商売ができるのか伺います。

答 商工観光課長 宮平 寛

沖縄県水難事故の防止及び遊泳者等の安全の確保等に関する条例の11条第1項に基づきまして、沖縄県公安委員会宛、海洋レ

ジャー事業届出書を得ないといけないことになっております。

質 業者の営業が違法だったら取り締まりできないのか伺います。

答 商工観光課長 宮平 寛

この業者が全て、県の条例に基づく届け出をしているのかしていないのかというところまでは具体的に確認をしております。

質 村内で営業する場合は、村条例や規則、ルール、それと禁止事項や遵守事項を熟知させてから営業が行えるようにできないか伺います。

答 商工観光課長 宮平 寛

恩納村独自の認証制度は必要と考えております。この辺につきましては、漁協を含めて関係機関と連携、協議しながら今後考えていきたいと思っております。

質 豊かな自然環境を維持していくにはルールづくりが必要と思えますが、村長に伺います。

答 村長 長浜善巳

ルールづくりは大変必要なものだと思っております。そして、ローカル認証制度というものをつくれなにかということ作業を進めております。